

八千代市教育大綱（案）

国が定める第4期教育振興基本計画の2つのコンセプトとも言うべき総括的な基本方針として掲げられた「持続可能な社会の作り手の育成」「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」の実現に向けて、八千代市教育大綱の基本的な方針を次のとおりとします。

【基本的な方針】

E S D（持続可能な開発のための教育）の推進

こどもたちのよさや可能性を引き出し伸ばす教育

- ・小中学校の規模の適正化を図りつつ、教育的及び全市的な施設配置の観点から小中学校の適正配置を図るとともに、老朽化が進んだ学校教育施設の長寿命化改修などを通じて、教育環境の向上と施設の老朽化対策の一体的な整備を進めます。
- ・教育内容や相談・支援体制などを充実させるとともに、E S Dを推進し、こどもたちの長所や可能性を伸ばす教育、持続可能な社会の創り手を育てる教育に取り組みます。
- ・体育や健康、食に関する指導を充実させることで、こどもたちが生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かな生活を実現するための資質や能力を育てます。
- ・こどもたちの豊かな教育環境の充実と持続可能な学校教育を実現するため、学校における働き方改革を推進します。
- ・教育D Xを推進し、児童生徒の情報活用能力を育成するとともに、I C Tを活用した校務の効率化を図ります。

教育を核とした持続可能な地域社会の構築

- ・青少年が自立に必要な判断力や実行力及び豊かな感性を身につけるため、家庭や学校、関係機関、地域住民との連携を図りながら、青少年の健やかな自己形成や社会参画を支援します。
- ・市民が必要な知識を得られるよう学習機会の充実を図り、誰もが学習の成果を生かすことができる仕組みをつくり、学びを通じた交流と学習成果の地域還元を促進するなど、生涯学習に関する施策を総合的に推進します。
- ・コミュニティ・スクール、地域学校協働活動などを通して、学校・家庭・地域との連携・協働を推進します。
- ・市民の自主的な文化芸術活動を支援し、文化芸術団体やグループ活動を支える人材の育成と活動機会を提供します。あわせて、市民の文化芸術活動の拠点となる文化芸術施設の活用・充実を図ります。
- ・貴重な文化財を次代に継承していくために、郷土の歴史や文化に対する市民の理解と認識を深めるとともに、文化財の調査・研究及び保存・活用を図ります。
- ・スポーツ施設の更なる充実や有効活用を進めるとともに、スポーツ指導者やスポーツ関係団体、スポーツクラブの育成や市民ニーズに対応したスポーツの普及など、スポーツ・レクリエーション活動を推進する体制や環境づくりを進めます。